

野鳥監視重点区域内で実施した野鳥糞便調査・環境試料（水）調査の検査陰性について

三豊市の家きんにおける高病原性鳥インフルエンザの発生を受けて、三豊市内2箇所のため池において、野鳥糞便調査・環境試料（水）調査を実施したところ、高病原性鳥インフルエンザウイルスは検出されませんでした。

1 検体採取

12月16日(水)：野鳥糞便を採取、同日、(独)国立環境研究所に検体を送付
：環境試料（水）を採取、同日、鳥取大学に検体を送付

2 今後の対応

今回調査したため池において、継続して月1回の野鳥糞便調査・環境試料（水）調査を実施し、結果については判明次第、報道発表します。